

まつりを を く る

僕らにはいつも

まつりが必要だった

活気のある都市には、いつも素敵なまつりがあるように思いませんか？まつりは楽しいものです。そこには、

老若男女を問わずたくさんの方が集まり、溢れるような熱気の中、自分たちの「まつり」をつくり上げていきます。

まつりには、様々なものがあります。

伝統的な祭礼・祇園祭、現代美術の祭典・横浜トリエンナーレ、国内最大の文化祭・国民文化祭。これらのまつりはいずれも、それぞれの歴史の中で、非常に特徴的な文化を生み出しています。そして、どのまつり

においても、まちの方々の活発な活動こそが、その歴史を支えています。まつりをつくるということは、実は、まちをつくるということにもつながるのかも知れません。

京都市では、文化芸術都市の創生を目指し、平成19年3月に「京都文化芸術都市創生計画」を策定しました。

本年度は「まつりをつくる」ということの可能性に注目し、推進フォーラムを開催致します。

京都文化芸術都市創生計画

文化ボランティア

第26回国民文化祭・京都2011推進フォーラム

日時：平成22年3月14日（日）13時開場 14時開始

会場：芝罘会館 稲盛ホール（三田区北町三丁目）

参加費：無料

主催：京都市・第26回国民文化祭京都市実行委員会